

吉原ファーム21

- ・事業名 野菜作りを核とした地域社会への貢献
- ・主な活動場所 吉原町高見

事業目的



家庭菜園
交流と研鑽

中後年健康の増進

地域への野菜提供

子ども達の農業体験



活動内容

野菜づくり

2024 吉原ファーム21作付表

作付	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大根												
玉葱												
白菜												
人参												
キャベツ												
梅												
じゃがいも												
さつまいも												
さといも												
なす												
きゅうり												
とまと												
ピーマン												
ずいか												
大豆												
エンドウ												

● 種蒔き・作付 ◀ 育成 ▶ 収穫 ● 撤替え



活動日

- ・設立平成21年度
- ・会員数: 16名
- ・活動日: 毎週(定例日)水、土

活動成果

- ・継続活動で野菜の収量増加
- ・新規 果実の手入れと収穫 (みかん、柿等)

課題

- ・子供(子供会)の減少
- ・会員の高齢化による 工作地縮小

ワレマキスの会

事業名 花と緑のあふれる活気あるまちづくり事業

主な活動場所 若園交流館内



事業目的 花壇つくりを通じて 地域の人達との
ふれあいの場をつくる。

今年度の活動内容・活動の様子

毎月第一、第三金曜の午前中
花壇の手入れ、6月と11月に花の植え替

活動の成果・課題

今回チヨコッとお手伝い(チヨボウ)の呼びかけ
をして、部員の入会につなげることができた。
今年は酷暑と雨不足のため、植物の
成育が今ひとつだった。そういった天候
の中でもよく育つ種類、の選択も
考える必要がある。



逢妻男川自歩道の花壇を守る会

事業の目的

高齢者クラブの奉仕活動の一環として、逢妻男川自歩道の景観づくりと清掃活動を行い、自歩道を散歩する人を増やすことで健康促進に貢献します。また、自主グループとしての活動を継続し、地域の景観維持にも寄与することを目的としています。

今年度の活動 活動内容

毎月15日を活動日として設定し、花壇の手入れ(除草、剪定)、花苗の植え替えを実施。

活動の成果

定期的に季節の花苗を植えることで、自歩道を散歩する方に四季折々の景観を楽しんでもらい、健康維持にも貢献。





☆事業の目的

①地域の情報発信のデジタル化を推進

- ・情報のデジタル発信基盤を構築し何時でも見える化する
- ・三河線高架化・街づくりで変貌する地域の映像記録

②幅広い情報のデジタル化推進の体制作り (人材発掘・仕組み)

☆今年度の活動 (令和5年1月発足、2年目)

①ホームページのフォーム見直し・掲載情報の充実・多様化

- ・HPの改善：見易さ・分り易さ・管理の容易化
- ・デジタルミュージアムの充実、まちづくり情報を追加
地域の行事の映像を記録、HP 掲載・YouTube発信

②情報のデジタル化の推進、HPの維持管理体制作り

- ・運用管理マニュアル作成・見直し
- ・活動PR・協力者の発掘活動を展開 (+2名)
- ・大量データの保存共有システム (NAS) 構築と運用試行

☆活動の成果

- ・HPの運用・見直し改善まで経験し蓄積ができた
- ・上記の実施を通じデジタル力 (ソフト・ハード) が向上
- ・行事や資料の保存・継承のベースが出来た

☆課題

- ・HPとNASの共同 (自治区) 運用管理体制の定着
- ・掲載情報の陳腐化防止・定期見直しの定着化
- ・HPの活用・閲覧向上策と区民の投稿促進への取組



【中根のデジタルミュージアム】(中根の文化・芸術発表の場)

◇中根の談話室

1. 絵画
2. 写真
3. 書道
4. 手工芸
5. ものづくり・コレクション
6. 園芸
7. 芸道
8. 音楽・芸道
9. 歴史研究

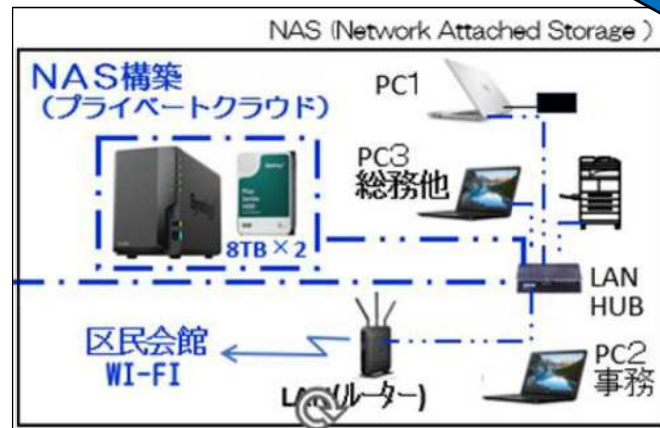
◇わたしの散歩道

◇中根のミュージアム：主要行事のYouTube中継映像

◇写真・動画投稿コーナー新設
(自治区内の新たな魅力を発見し投稿)

24年の撮影実績と目的対象区々

1月1日	神明宮
1月14日	花園 開発 ドローン
1月20日	オールドマン芸能発表
2月25日	芸能発表
3月24日	若園スプリングコンサ
4月14日	球友会リーグ戦
4月27日	田植え場 草刈り
5月4日	中根の信号 ドローン
5月12日	若園交流戦
5月21日	若園小学校田植え



区民の投稿



花園町自治区防犯隊

令和6年度活動報告

・ 事業名	・ 自治区防犯活動推進
・ 主な活動場所	・ 花園町自治区全域

◎事業目的： 安全・安心なまちづくり
 (防犯意識向上、近隣同士の連帯強化による犯罪被害抑止)

作成：令和7年2月19日

◎令和6年度の活動内容

	主な活動項目	活動実績
1	・ 青パト及び歩行による防犯パトロールの実施	・ 原則、365日毎日の青パト巡回 ・ 週1~2回のグループ歩行巡回
2	・ 名鉄「三河八橋」駅での自転車無施錠防止活動	・ 5/20~6/15 (24日間) 点検実施 ・ 平均368台/日のうち無施錠2%
3	・ 名鉄「三河八橋」駅からの女性深夜帰宅方法調査	・ 8/15~8/20 (6日間) 観察実施 ・ 平均25人/日。徒歩帰宅約50%
4	・ 自宅玄関等に掲示用の戸別防犯看板の配布	・ 今年度に申し込みあった46枚を配布 (昨年度は約200枚配布)
5	・ 「防犯だより」の発行	・ 上記「2」「3」の活動結果を1/1付け回覧にて区民へ周知



(自転車無施錠点検)



(女性帰宅方法調査)



(戸別防犯看板)

◎ 活動の成果と課題

<成果>上記の活動をほぼ計画通りに実施し、自転車無施錠率の低減(前年2.7%→2.0%)などを実現

<課題>自転車盗難(現時点、若園全体では令和5年8件→6年8件と判明)など犯罪被害件数としては横ばいの模様。

確実な犯罪被害低減に向け、地区住民への働きかけにさらなる工夫、強化が必要と考える

今の子どもたちは、性の情報に簡単にアクセスできるようになり、商業目的による間違った性の情報を目にすることが増えています。このような間違った情報に触れる前に、愛情をベースにしたあたたかな性を伝えたい！というお母さんやお父さんの思いでこの活動を始めました。科学的な根拠のある正しい性の知識を公教育で伝える事で、子どもたち一人一人が自分も相手も大切にし、安心と安全を選択判断できるようになること。また地域の大人・教職員・保護者も共に学ぶことで、安心して暮らせる地域づくりに繋がることを目指して活動しています。



若林・若園・竜神の子ども 1609 名・大人 128 名・合計 1737 名に、国際基準の「包括的性教育」をベースとした性教育講座をお届けすることができました。

専門家による性教育講座（実施人数）

		子ども	おとな	教員	合計
高岡学区	若林東小学校(5年生)	64 人	7 人	2 人	73 人
	若林西小学校(5年生)	57 人	0 人	2 人	59 人
	高岡中学校(1年生)	123 人	3 人	4 人	130 人
若園学区	若園小学校(4年生)	136 人	0 人	4 人	140 人
	若園中学校(1年生)	122 人	2 人	4 人	128 人
竜神学区	竹村小学校(5年生)	96 人	9 人	4 人	109 人
	竜神交流館(低学年親子)	65 人	54 人	0 人	119 人
	合計	663 人	75 人	20 人	758 人

※各講座では性教育本を展示しています。

自分たちで行える無償の活動（実施人数）

	プール前の読み聞かせ(小学1年生)	プライベートゾーンを学ぶ授業(小学2年生)	境界線と同意のワークショップ(中学1年)	教員向け動画視聴&アンケート(教員)	合計
若林東小学校	90 人(3クラス)	81 人(3クラス)	—	—	171
若林西小学校	47 人(2クラス)	45 人(2クラス)	—	—	92
高岡中学校	—	—	123 人(4クラス)	—	123
若園小学校	110 人(4クラス)	125 人(4クラス)	—	—	235
若園小学校	—	—	—	33 人	33
若園中学校	—	—	122 人(4クラス)	—	122
竹村小学校	109 人(4クラス)	94 人(3クラス)	—	—	203
合計	356 人	345 人	245 人	33 人	979 人



その他

性教育本の貸し出し：今年度は4校の小学校に性教育本を5冊ずつ貸し出しました。
包括的性教育への理解活動：ワッカマルシェ出店：活動紹介やワークショップ等を地域の方に向けて実施。

日々の活動・情報発信→



Facebook



Instagram



今年度新たな取り組み 教員向け動画視聴&アンケート（一部結果報告）

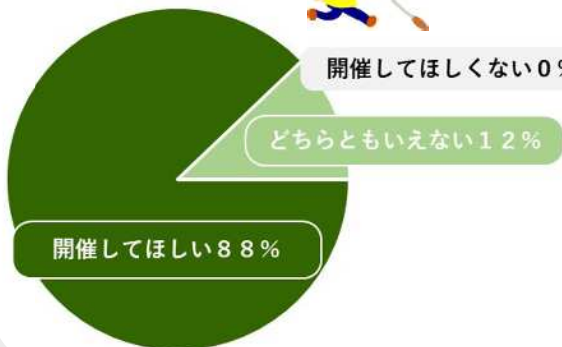
設問5・今後も学校で、子ども向けに包括的性教育を実施してほしいと思いますか？

今後の子供向け講座の継続希望88%
／実施してほしいは0%

先生方のコメントより

・「同意をとること」や「自己と他者の違いを前提に互いを尊重すること」の大切さについて多くの関心をお持ちいただきました。
・教師として、今後学びあいを深めたい観点として、「発達段階に応じた包括的性教育」「ジェンダー」などがあげられました。

設問5	人数	%
開催してほしい	29	88%
どちらともいえない	4	12%
開催してほしくない	0	0%
総計	33	100%



（今後の課題）

各地域の保護者から共感をいただき、団体メンバーも着実に増加。ただ、メンバーの子どもが小学校を卒業していくため現役小学校保護者メンバーが減少傾向。学校との関わりを大切しながら活動できる現役保護者メンバーを増やすなど長期継続的な体制を目指していく。



←メンバー募集！
わっかのたね公式ラインにご連絡ください。